企業見学（日本製鉄株式会社広畑製鉄所）

1　対象生徒　　3年自然科学科（46回生）40名

2　目的

（1）企業での研修を通して、最先端技術の研究開発を学び、科学技術と社会のあり方について考察することができる。

（2）企業での研修を通して、今後の自分の進路を考えるきっかけにするとともに、将来に向けての研究活動への契機にすることができる。

3　内容・方法・検証

①　内容・方法

日　　時　令和元年7月9日（火）7:50～12:40

研修場所　日本製鉄株式会社広畑製鉄所

姫路市広畑区富士町1番地

ｽｹｼﾞｭｰﾙ

7	:50	登校
8	:00	学校出発
9	:20	日本製鉄株式会社広畑製鉄所到着
9	:40	会社・研究概要説明(DVD)
10	:25	熱延ライン見学　質疑応答
11	:30	日本製鉄株式会社広畑製鉄所出発
12	:40	学校帰着

②検証

アンケート結果（40人分）

今回の研修は

1	大変有意義であった	23
2	有意義であった	17
3	あまり有意義でなかった	0
4	有意義でなかった	0

事業の内容について

1	理解できた	17
2	だいたい理解できた	23
3	あまり理解できなかった	0
4	理解できなかった	0

自分の進路を考えるうえで

1	とてもためになった	0
2	ためになった	35
3	あまりためにならなかった	2
4	ためにならなかった	1

最先端の技術の一端に触れられたと

1	大いに感じられた	23
2	感じられた	16
3	あまり感じられなかった	1
4	感じられなかった	0

生徒の感想（抜粋）

・鉄を伸ばすときに、業者のミスで少しずれたペアクロスロール方式が、鉄の形をよくするのに成功したことを聞いて、工業の世界でも失敗が成功を生むことがあるのだなと思いました。製鉄という言葉を聞くと、多量の燃料を使用して、すごく環境に負荷をかけているイメージがあったけど、この会社では森林のもつ力を使ったり、資源を再利用したりしていて、とても環境に優しい会社であることに気づいたし、環境にも配慮できるような会社が世界で活躍できるのだなと思いました。

・研究員がいて、特許をたくさん取っていることに驚きました。（製鉄所と聞くと、加工するだけのイメージでした）2000℃の鉄と言われてもあまり想像はつきませんでしたが、実際に見てみて、遠かったはずなのにすごい熱気を感じたし、迫力がすごかったです。

・製鉄の段階で、タイヤや水を多くリサイクル、再利用していて、先端技術の中に、環境への配慮が感じられました。よく、大きな工場の煙突から煙があがっているのを見て、「中では何をつくっているのだろう？」と思っていましたが、製鉄などの工程で、熱したものに水をかけているからなのだとわかりました。工場内はとても暑くて、ここで働いてくれている人のおかげで、私たちは豊かな生活を送れているのだと実感しました。